

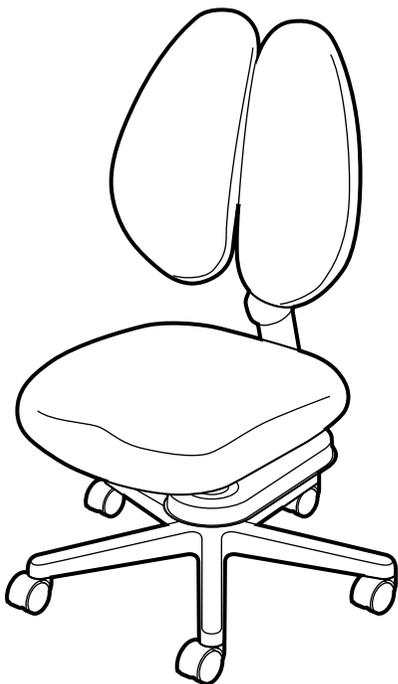
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの.....

プラスドライバー  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用することをお勧めします）



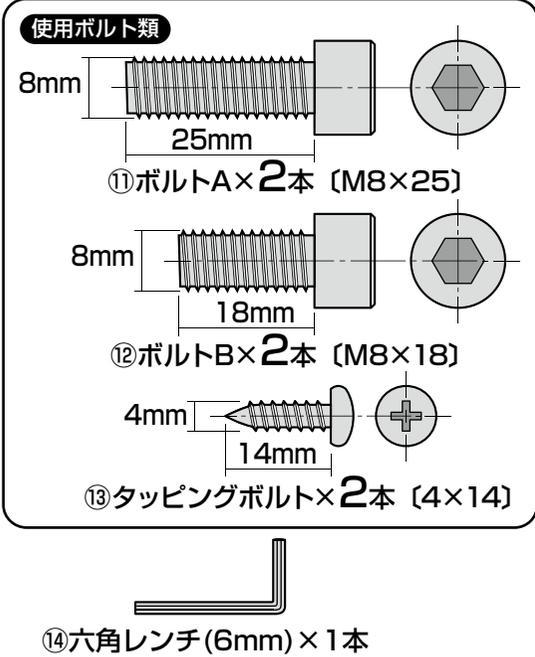
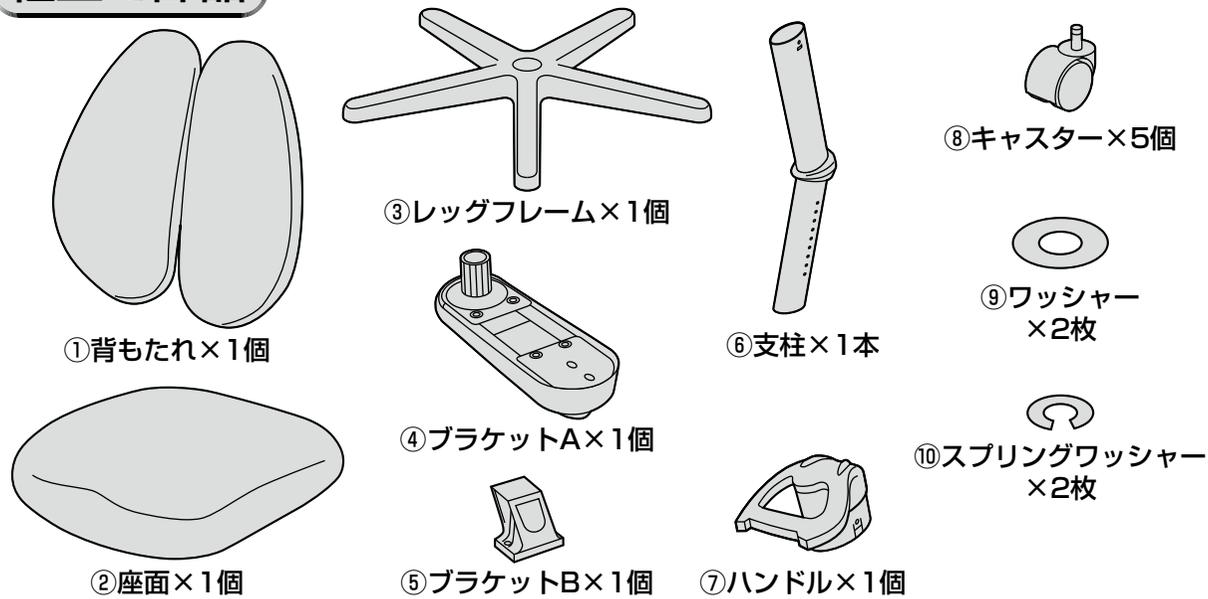
**▲ 注意 ▲**  
指などを挟まないように十分ご注意ください。  
組立て時のケガ等を防ぐために、  
手袋の着用をおすすめします。

**▲ 注意 ▲**  
床に傷がつかないように、段ボールな  
どを下に敷いて作業してください。

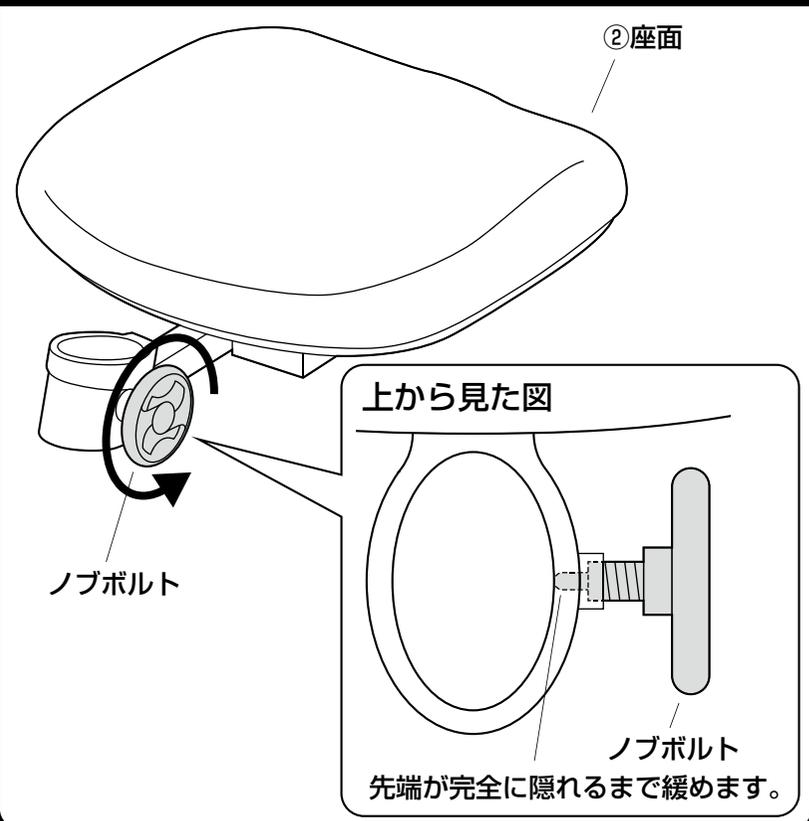
**▲ 注意 ▲**  
組み立てにはプラスドライバーが  
必要です。ご用意ください。

**組立て部品**

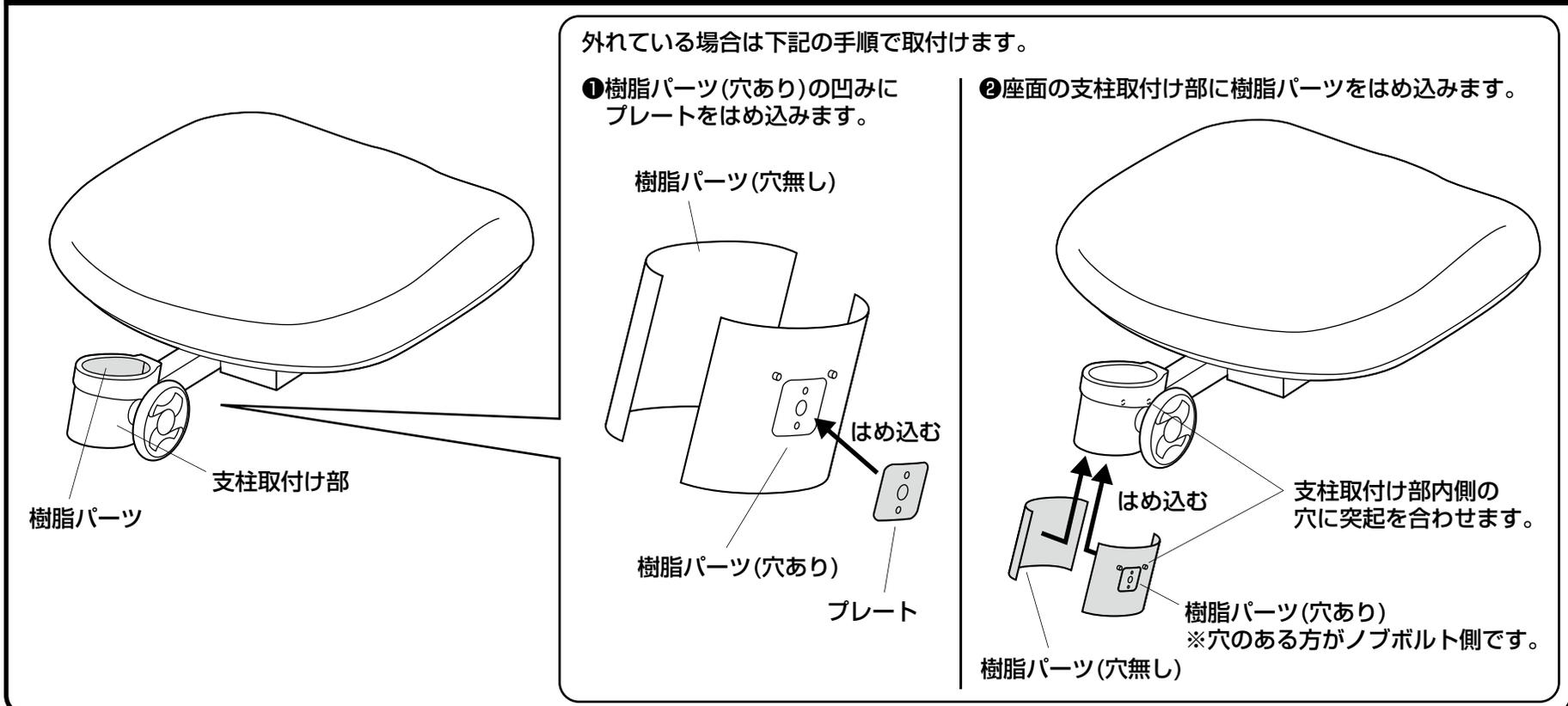
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCH043など)と  
下記の部品番号(①~⑭)と部品名(ワッシャーなど)をお知らせください。



**1 座面のノブボルトを緩めます。**

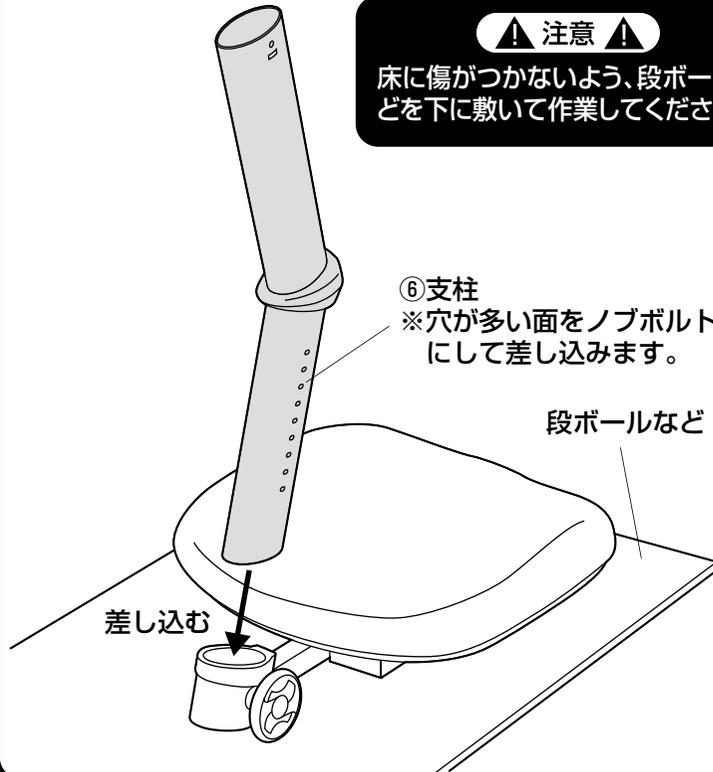


**2 座面の支柱取付け部に樹脂パーツが付いていることを確認します。**



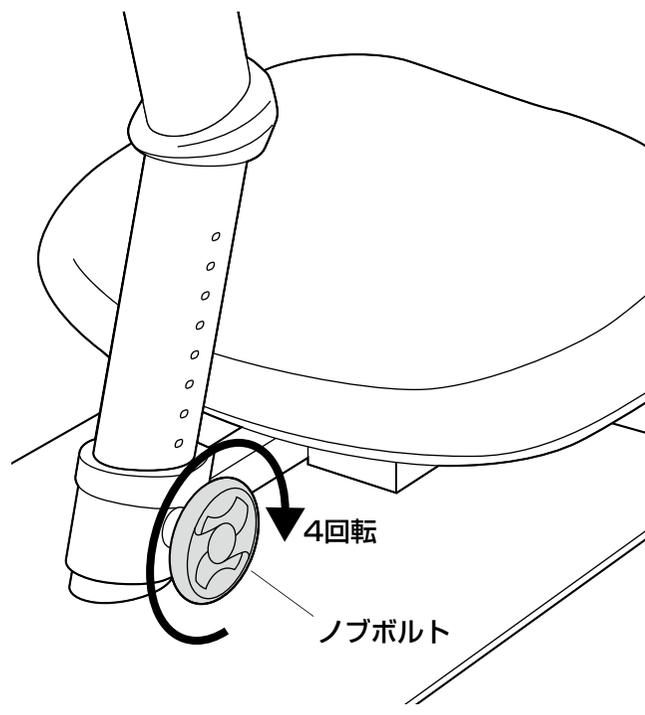
### 3 座面に支柱を差し込みます。

**▲ 注意 ▲**  
床に傷がつかないように、段ボールなどを下に敷いて作業してください。



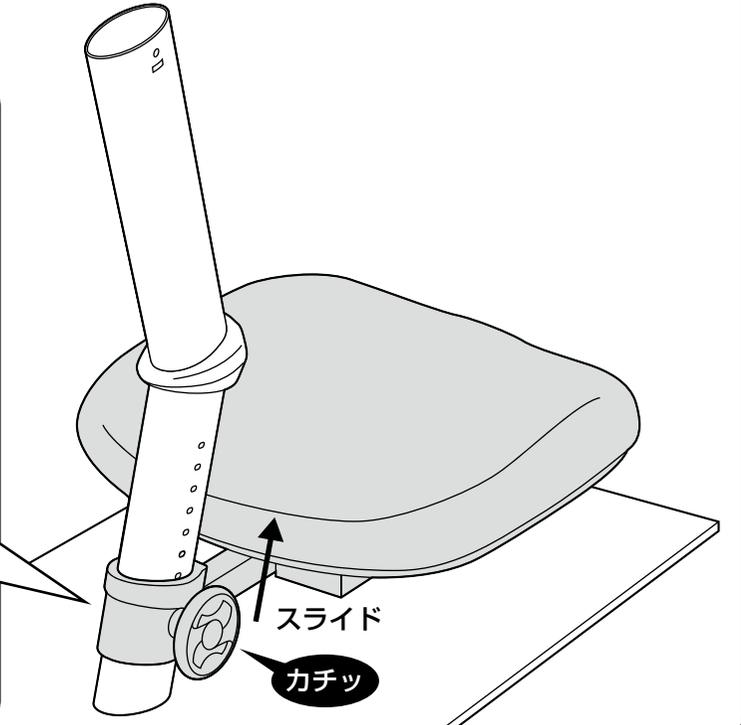
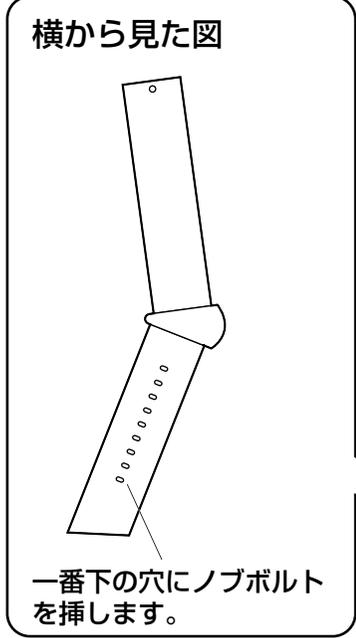
### 4 座面のノブボルトを締めます。

ノブボルトを矢印の方向に4回転回します。

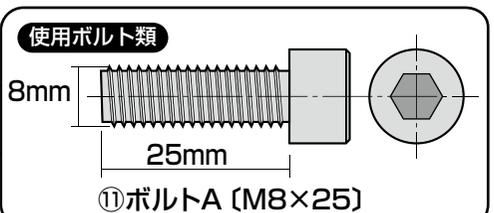
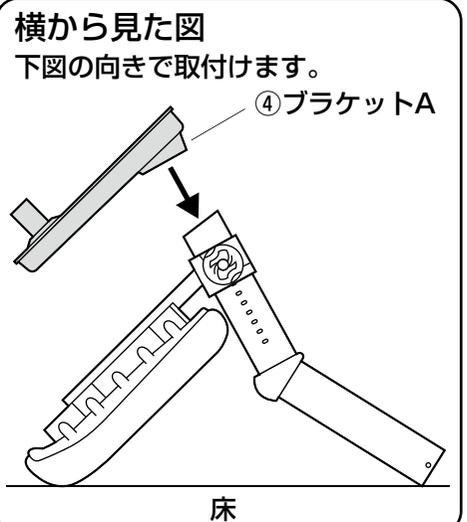
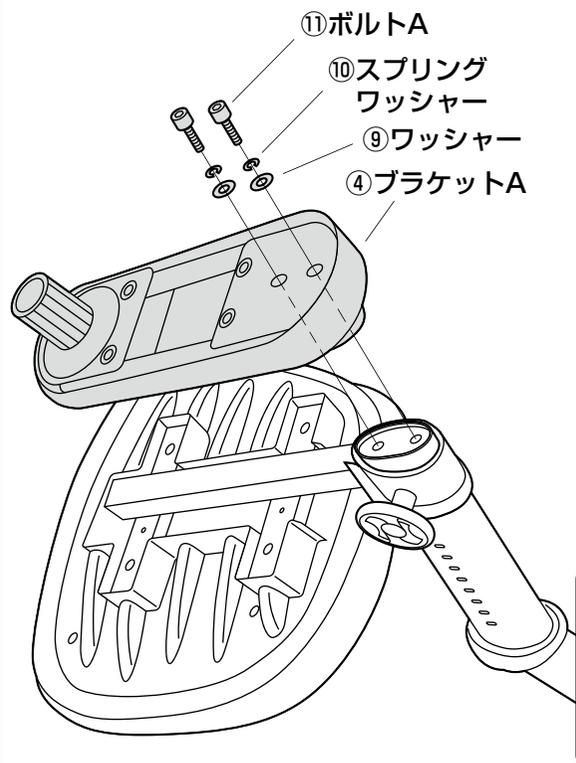


### 5 座面を矢印の方向にスライドします。

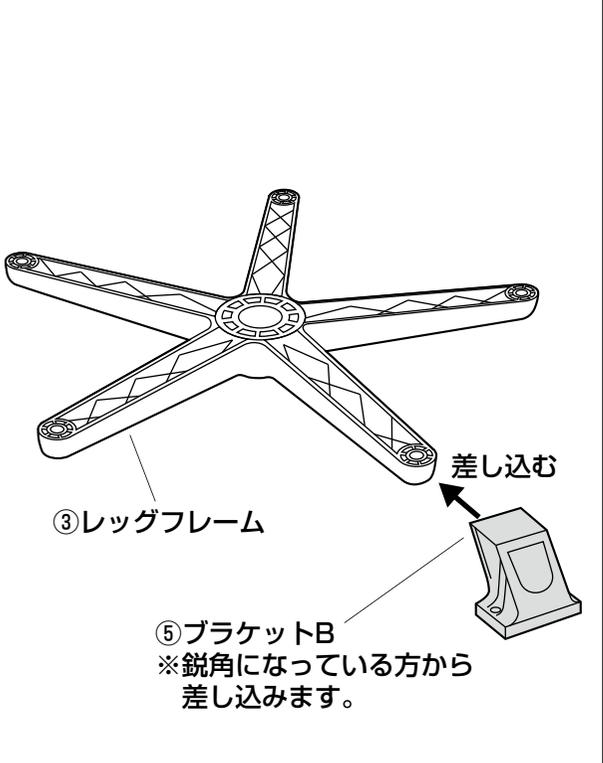
座面を矢印の方向にカチッと音が出るまでスライドします。



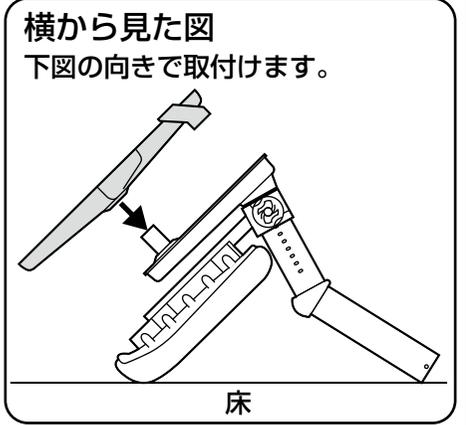
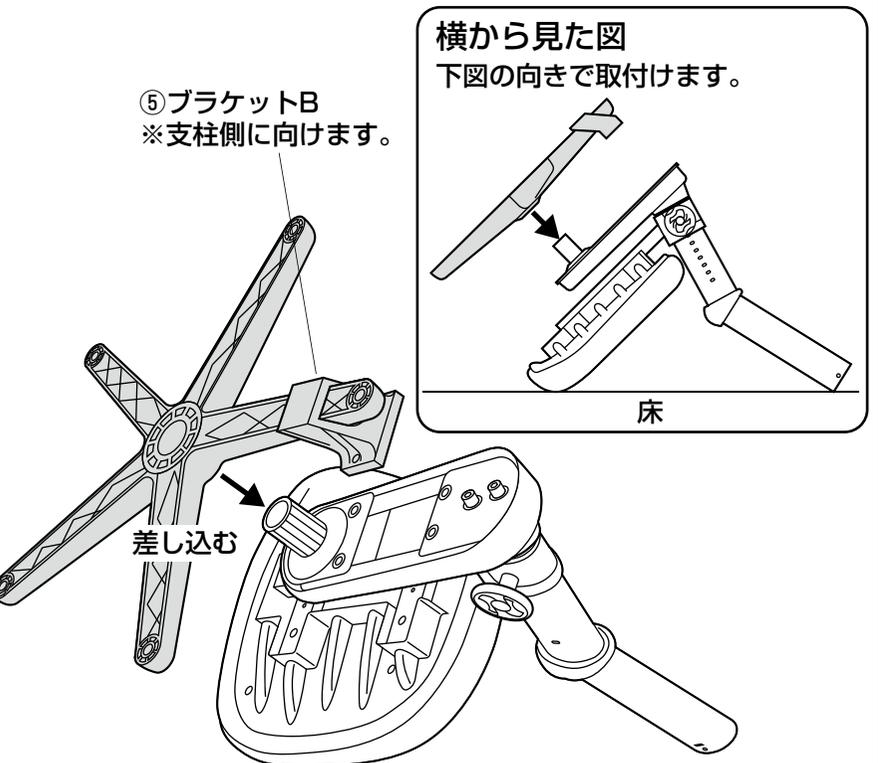
### 6 支柱にブラケットAを取付けます。



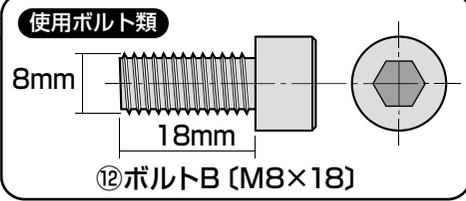
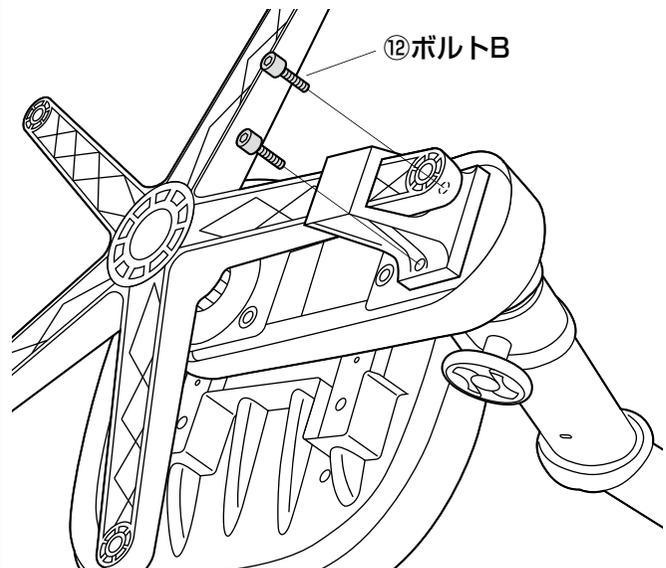
### 7 レッグフレームにブラケットBを差し込みます。



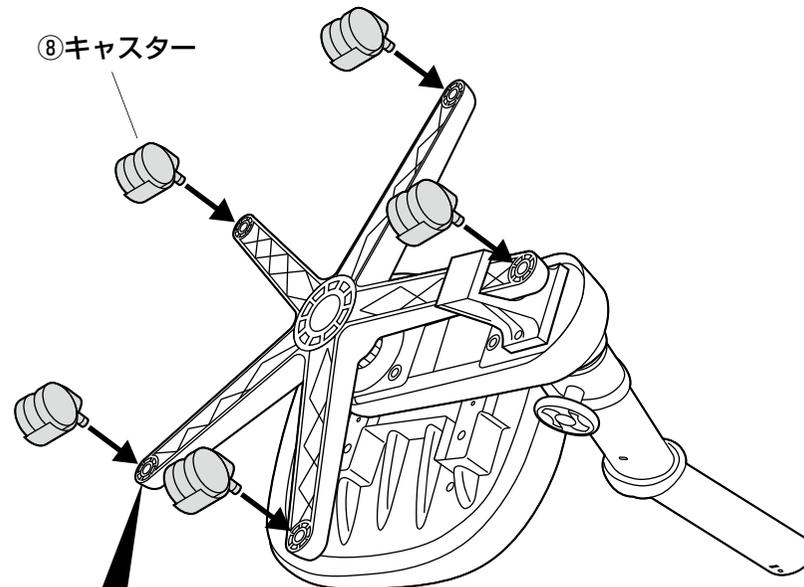
### 8 ブラケットAにレッグフレームを差し込みます。



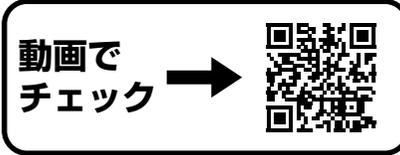
9 ブラケット AにブラケットBを固定します。



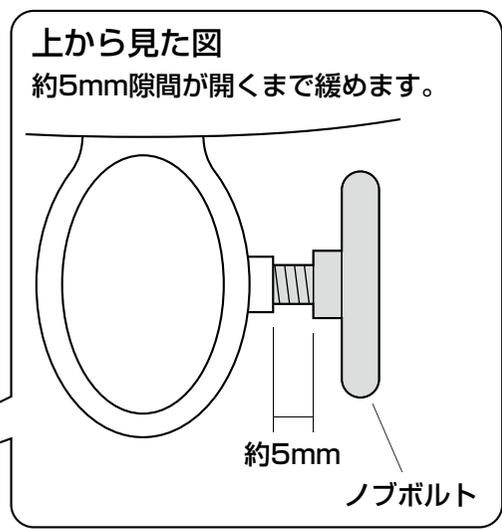
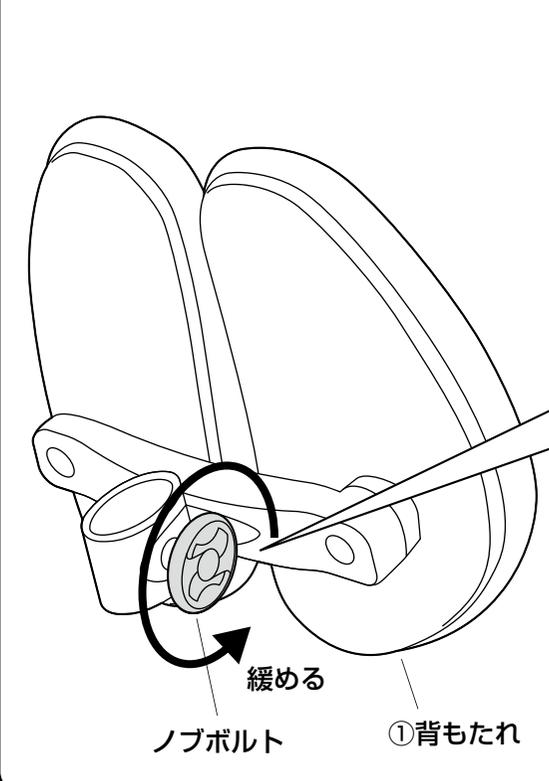
10 レッグフレームにキャスターを取付けます。



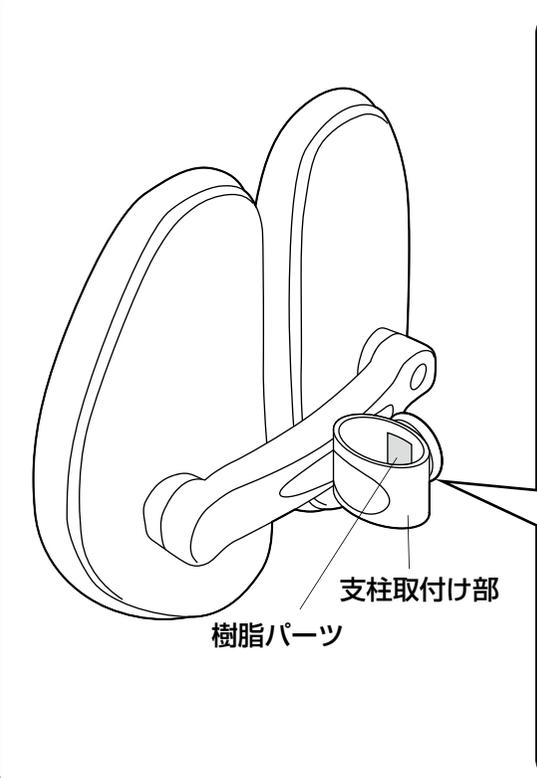
▲注意▲  
それぞれのキャスターは全て  
圧入式です（手ではめこむ）。  
奥まできちんと差し込んでく  
ださい。



11 背もたれのノブボルトを緩めます。



12 背もたれの支柱取付け部に樹脂パーツが付いていることを確認します。



外れている場合は下記の手順で取付けます。

①樹脂パーツの凹みに  
プレートをはめ込みます。

②ノブボルトを天井に向けた状態で  
支柱取付け部に樹脂パーツを  
はめ込みます。

プレート  
樹脂パーツ  
内部の凹み  
はめ込む

13 支柱に背もたれを取付けます。

①支柱に背もたれを差し込みます。

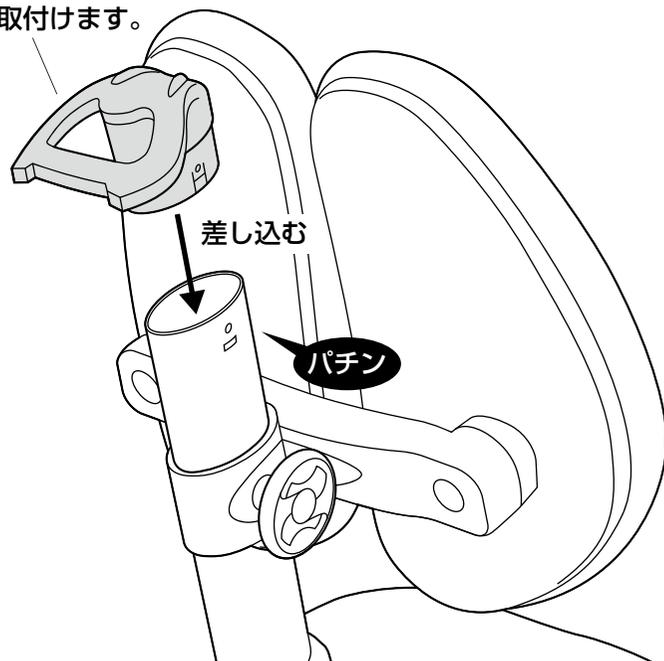
①背もたれ  
※ノブボルトのある方が  
下です。

②任意の高さでノブボルトを締め付けて  
固定します。

締める

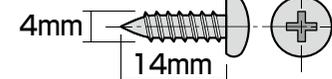
①支柱にハンドルをパチンと音が出るまで差し込みます。

⑦ハンドル  
※後に向けて取付けます。



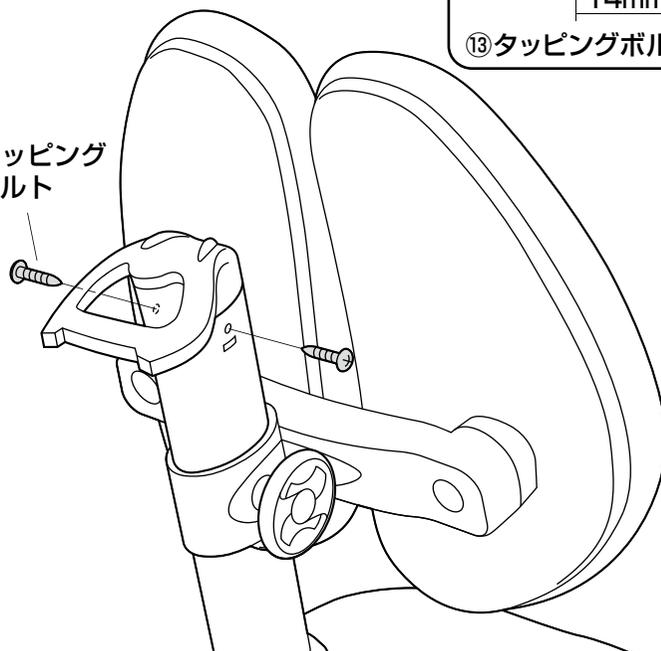
②タッピングボルトで固定します。

使用ボルト類



⑬タッピングボルト [4×14]

⑬タッピングボルト



## チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部・脚部/スチール、ポリプロピレン、ナイロン  
キャスター部/ポリウレタン  
張り材：布（ポリエステル）  
クッション材：ウレタンフォーム

### ▲ 使用上の注意 ▲

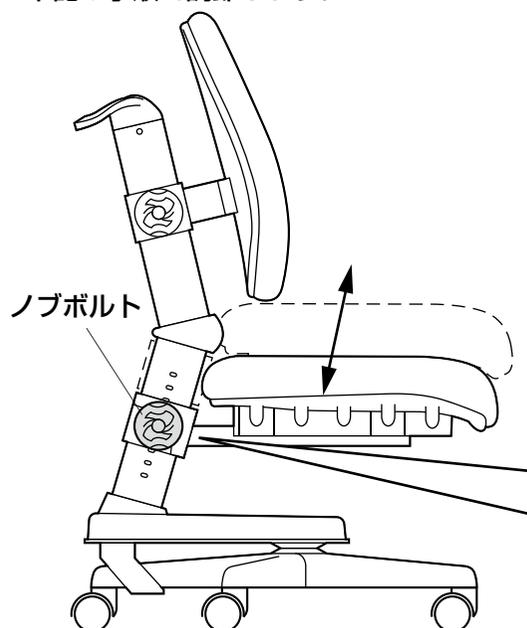
- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
  - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
  - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

## 座面の高さ調節方法

座面の高さは9段階で調節可能です。  
下記の手順で調節します。

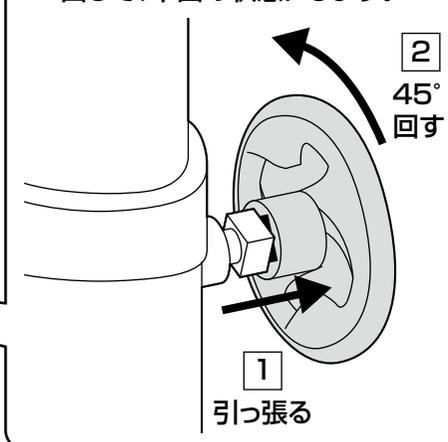
### ▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように  
十分ご注意ください。



①座面のノブボルトを引っ張ります。

※ノブボルトを引っ張り、約45°  
回して、下図の状態にします。



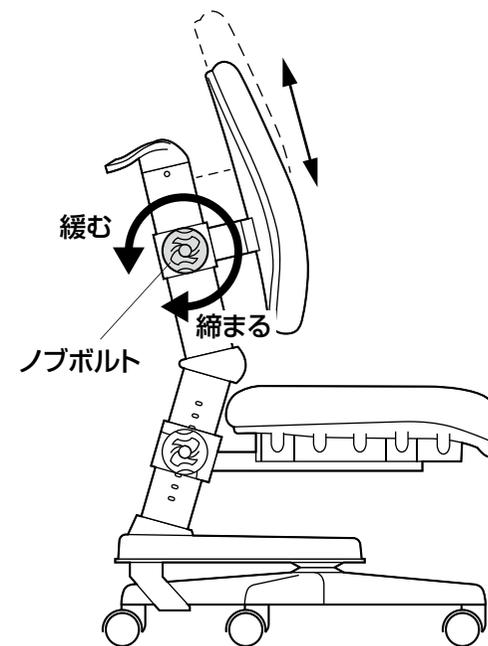
②座面の高さを調節します。

※左側面にある目盛りと座面の支柱取付け部  
の上端を合わせます。  
目盛りの数字は座る人の身長を目安です。

③ノブボルトをカチッと音がするまで回します。

④座面を押し下げると、もう一度カチッと音が  
して固定されます。

## 背もたれの高さ調節方法



①背もたれのノブボルトを緩めます。

②背もたれの高さを調節し、ノブボルト  
を締め付けます。

※左側面にある目盛りと背もたれの支柱  
取付け部の上端を合わせます。  
数字は座る人の身長を目安です。  
※調節後はしっかりと締め付けて、固定  
してください。

### ▲ 注意 ▲

可動部分で手や足を挟まないように  
十分ご注意ください。